

近年の豪雨等を踏まえた「中小河川及びダムの治水対策」の推進

政策提言先 総務省・国土交通省

政策提言の要旨

- ・局部的な堤防の嵩上げや強化、河床掘削など、限定的でも効果が大きい対策を一定期間に集中的に実施するために、防災・減災に資する継続的な予算を確保するとともに、抜本的な治水対策を集中的に行う補助事業「大規模特定河川事業」が引き続き計画的に執行できる予算の措置が必要です。
- ・また、ボトルネック箇所の局部的な河川改修や、河川内の維持掘削、ダム貯水池の浚渫等の維持管理を県単独事業により計画的に行うことができる、有利な地方債制度が必要不可欠です。

【政策提言の具体的内容】

- 防災・減災に資する中長期的視点に立った必要・十分な予算の確保が必要です。
 - ・「3か年緊急対策」、その後の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、河床掘削・樹木伐採、堤防の強化・河川の拡幅などの治水対策が大きく前進。
- 補助事業「大規模特定河川事業」への安定的な予算配分が必要です。
 - ・浸水被害が頻発する河川の抜本的な治水対策を集中的に実施
- 緊急自然災害防止対策事業債、緊急浚渫推進事業債の安定的かつ継続的な確保が必要です。
 - ・ボトルネック箇所の局部的な河川改修、河川内の河床掘削や樹木伐採、ダム貯水池の浚渫等の維持管理を県単独事業により計画的に実施

【政策提言の理由】

- ・温暖化に伴い、全国各地において、豪雨災害が頻発・激甚化し、中小河川のインフラ整備の重要性が一段と高まっています。
- ・豪雨災害に備えるためには、河川の流域のあらゆる関係者が協働して行う「流域治水対策」が重要です。
- ・その中でも、人口や資産が集中した地域における河川を、計画に基づいて連続的に改修することに加え、近年浸水被害が発生した河川などのボトルネック区間を局部的に改修することが対策の根幹となります。
- ・あわせて、河川の河床掘削や樹木伐採を適切に行い、流下能力を確保することや、ダム貯水池の浚渫を計画的に行うことが重要です。
- ・このため、防災・減災に資する中長期的視点に立った必要・十分な予算を最大限に活用し、計画的に事業を執行できる当初予算で確保するとともに、抜本的な治水対策を集中的に行うための補助事業「大規模特定河川事業」への安定的な予算の配分と、ボトルネック箇所の局部的な河川改修や、河川内の河床掘削、ダム貯水池の浚渫等の維持管理を県単独事業により計画的に行うため、財源の安定的かつ継続的な確保が必要です。

【高知県担当課】 土木部 河川課